

1) 二枚貝の仲間 (スケッチの中のスケールが示す線の長さは1cm)

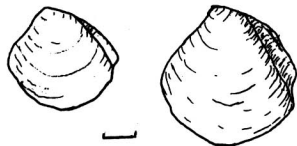
キヌタレガイ

小～大型の、細長く、その前後は円く、マテガイのように切りとられたようにはならない。殻頂は後ろに寄る。100～200mの泥のなかで生活する。



フリソデガイ

後方にのびて、吻状となる。滑らかか、粗い生長線をもつ。殻頂は後方に片寄る。20～200mと比較的深海底の泥に棲む。



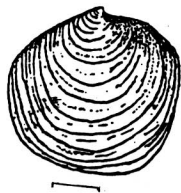
タヤシラ

(白亜紀～現世) 小～中型、三角～卵形、後部に褶がある。このなかまのうち、大型で褶が強いものが、次に述べるコンコセル (オウナガイ) である。



コンコセル (オウナガイ)

(中新世～鮮新世) 暖温から冷温な海水で、深さ10mから数100mの海底にもぐって棲み、プランクトンを食べる。



ツキガイモドキ

(中新世) ほぼ円形、レンズ状で、膨らみは弱い。成長線が明瞭。

暖温から冷温な海水で、深さ10mより深いところの内湾で砂か泥の海底に棲み、プランクトンを食べる。



エゾイシカゲガイ

(中新世～現在) 寒冷な海水の海底で砂か泥の浅いところに棲み、プランクトンを食べる。